１．全体教育構想図

Ⅳ　校内研究計画

学校教育目標
自ら学ぶ意欲と豊かな心を育み、たくましく生きる 児童の育成

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領

石川県
いしかわの学びの指針
12か条＋
白山市の基本理念
感性を豊かにする教育

児童の様子
・明るく素直で物事に真剣に取り組む児童が多いが、積極性に欠ける面があり、自ら進んで学習したり発言したりする姿勢に物足りなさがある。
・限られた集団の中で人間関係が固定しがちである。

めざす児童の姿
・主体的に取組み、表現できる子
・明るいあいさつができ、思いやりと感謝の心を持つ子
・たくましい気力と体力にあふれ、最後までやり抜く子
・ふるさとを愛する子

地域の状況
・山河の美しい地域であり人情に厚い土地柄だが、 近郊都市部からの人口流入も増え、価値観が多様化しつつある。
・学校教育に関心が高く、協力的である。

保護者の願い
・たくましく心豊かで、郷土を愛する河内っ子として、成長してほしい。
・少人数ゆえに固定化された人間関係に安住せず、自ら考え、積極的に行動のできる子になってほしい。

家庭・地域との連携・融合

研究主題
意欲を持って学び合う児童の育成
～一人ひとりが活躍できる場面を通して～

研究仮説
学校生活の基本となる生活習慣や学習習慣の定着とよりよい人間関係を築くことを土台にしたうえで、小規模校の特色を生かして、個々に対応した授業展開をする中から基礎・基本の定着を図ることができるであろう。そして、少人数であってもお互いが切磋琢磨し、学び合う機会を仕組むことで、創意工夫して学んだり行動したりする姿を身につけることができるであろうと考える。

学級経営
・児童理解にもとづいたあたたかい学級づくり
・基本的な生活習慣や学習習慣の身についた児童
・個性の尊重と連帯感・存在感のある学級づくり

各教科
・課題解決学習の重視
・基礎・基本の確実な定着と向上を図る。
・学び合う学習の場づくり
・体験活動、体験学習の重視

道徳科
・心豊かにたくましく生きるために、道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を育てる。
・体験活動を取り入れた心に響く道徳教育を実施する。

特別活動
・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

総合的な学習の時間
・身近な事物現象から問題を見出し、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力を育てる。
・学習活動を通して主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方について考えることができるようにする。

外国語活動
・活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる